人類の出現と文明

名前

問1　紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. ジッグラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
2. 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた
3. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
4. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された

問2　現在のペルーなどに見られる、精巧に組まれた石壁を特徴とするインカ帝国の遺構に関連して、この地域の歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 16世紀にポルトガルが大陸全体を植民地化し、先住民の伝統的な石造り技術をヨーロッパへ伝えた。
2. 18世紀にスペインやイギリスが勢力を争い、先住民を味方につけたイギリスがアンデス全域を支配した。
3. 18世紀にオランダが先住民の文明を保護する目的で進出し、キリスト教を禁止する政策をとった。
4. 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。

問3　古代文明の特徴を説明した次の記述のうち、メソポタミア文明に該当するものとして適切なものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 黄河や長江の流域で、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで占いが行われた。
2. インダス川流域の都市において、下水道や公衆浴場などの高度な都市設備が整えられた。
3. チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄え、月の満ち欠けを基準とする太陰暦が用いられた。
4. ナイル川の定期的な増水を予測するため、太陽の動きを基準とする太陽暦が作られた。

問4　シルクロードを介した東西の文化交流に関する記述として、歴史的背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 地中海沿岸で生産された絹織物を中国へ運ぶことを主目的として、アジア諸国が協力して広大な交易路を管理・運営した。
2. 西方から中国へ紙の製造技術が伝えられたことで、中国国内での仏教の布教が急速に進み、シルクロード沿いに寺院が建立された。
3. 中国の特産品である綿織物をヨーロッパへ届けるため、内陸部に大規模な鉄道網が整備され、敦煌などの都市が工業都市として発展した。
4. 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。

問5　古代ローマ帝国が、地中海を囲む広大な領土を長期間にわたって統治し、高度な文明を維持できた理由として、インフラ整備の観点から説明したものとして正しいものを次の中から選びなさい。（2022年 佐賀県公立入試 類似）

1. 各地の有力者に土地を仲介する封建制度を導入し、道路や水道の管理をすべて地方の領主に任せることで中央の負担を減らしたため。
2. 「すべての道はローマに通ず」と言われるほど徹底した道路網の整備により、物資の流通や情報の伝達、軍隊の移動を効率化したため。
3. 文字を読める特権階級のみを対象とした学問を奨励し、道路や水道の建設計画を一般市民には秘匿したため。
4. 他民族との接触を断つために主要都市の周囲に巨大な壁を築き、道路網をあえて分断することで外敵の侵入を防いだため。

問6　古代ギリシャの歴史家ヘロドトスが「エジプトはナイルのたまもの」という言葉を残したように、ナイル川はエジプト文明の発展に不可欠な存在でした。ナイル川が農業の基盤として果たした役割について、最も適切な説明を選んでください。（2018年 大阪府公立入試 類似）

1. 川の流れが非常に急であったため、大規模な水車を設置して灌漑施設を動かす動力源となった。
2. 川の水の塩分濃度が高かったため、周辺の土地で塩の採取が盛んになり、交易の資金源となった。
3. 一年中雨が多いため、川の水位が常に一定に保たれ、二期作や三期作が可能になった。
4. 定期的に氾濫することで、上流から農業に適した肥沃な土を運び、土地を豊かにした。

問7　世界の四大文明は、アフリカのナイル川、南アジアのインダス川、東アジアの黄河や長江といった大河の流域で成立しました。これらの文明が大河の周辺で発展した理由について、当時の社会の仕組みの観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）

1. 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめ上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。
2. 河川の急流を利用した水車によってエネルギーを確保し、それを用いて青銅器や鉄器を大量生産する工業化に成功したから。
3. 大河は他民族の侵入を完全に防ぐ天然の壁となり、軍隊を持つ必要がなくなったことで文化の研究に専念できたから。
4. 大河の周辺には、ピラミッドや巨大な城壁などの石造建築物を作るために必要な良質の石材が、世界で唯一豊富に存在したから。

問8　円形闘技場（コロッセウム）に代表される大規模な石造建築物が造られた古代ローマ帝国では、キリスト教に対する扱いが時代とともに大きく変化しました。その経緯を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 島根県公立入試 類似）

1. 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった
2. 高度な天文学や数字の知識を持つキリスト教徒を優遇し、建国初期から公認していた
3. 建国当初からキリスト教を保護し、シルクロードを通じて東アジアへ広めた
4. ギリシャの民主政治の影響を受け、建国時から一貫してキリスト教を国教としていた

問9　紀元前16世紀ごろに中国の黄河流域で栄えた殷王朝では、亀の甲羅や動物の骨に鋭い道具で文字を刻み、政治の重要な事柄を決定していました。現在の漢字の起源とされるこの文字を何といいますか。（2017年 大阪府公立入試 類似）

1. 甲骨文字
2. 象形文字
3. 金文
4. 楔形文字

問10　日本で最初の元号とされる「大化」が使われ、大化の改新などの国づくりが進められていた7世紀の西アジアにおいて、ムハンマドによって新しく開かれた宗教の名称を答えなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. イスラム教
2. ヒンドゥー教
3. 仏教
4. キリスト教

問11　安土桃山時代に行われた朝鮮侵略（文禄・慶長の役）に関連して、日本の伝統的な陶芸技術が大きく発展した理由として最も適切な説明はどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 明から勘合を取り寄せて質の高い陶磁器を大量に輸入したから。
2. 聖武天皇が保護した正倉院の宝物を手本にして作られたから。
3. 渡来人が大陸から新しく須恵器の作製技術を日本に伝えたから。
4. 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。

問12　古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）

1. 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
2. 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため
3. 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
4. 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。
問2	答え 4 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。	アンデス山脈を中心に栄えたインカ帝国は、16世紀にスペインの征服者によって滅ぼされました。その後、スペインによる植民地支配が始まり、先住民は過酷な労働を強いられたり、ヨーロッパから持ち込まれた病気によって人口が激減したりするなどの大きな被害を受けました。支配とともにキリスト教の布教も進められたため、「キリスト教の禁止」という説明は誤りです。また、この地域において大きな影響力を持ったのはポルトガルではなくスペインです。
問3	答え 3 チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄え、月の満ち欠けを基準とする太陰暦が用いられた。	メソポタミア文明は現在のイラク付近を流れる二つの大河のほとりで発展しました。天文学が発達し、月の満ち欠けの周期に基づく暦（太陰暦）が使われたほか、一週間を七日とする制度や、六十進法などの起源にもなっています。他の選択肢は、それぞれエジプト文明、インダス文明、中国文明の特徴です。
問4	答え 4 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。	シルクロードは単なる物資の輸送路ではなく、宗教や技術、文化が混ざり合う重要な役割を果たしました。中国側からは高品質な絹織物が輸出され、西方（中央アジアや西アジア）からはぶどうなどの植物や、インド起源の仏教が中国へと伝来しました。この交易を支えたのが砂漠点在するオアシス都市であり、敦煌はその代表的な拠点の一つとして仏教美術などの文化が花開きました。
問5	答え 2 「すべての道はローマに通ず」と言われるほど徹底した道路網の整備により、物資の流通や情報の伝達、軍隊の移動を効率化したため。	ローマ帝国のインフラ整備は、単なる利便性の向上だけでなく、広大な領土を中央集権的に統治するための合理的なシステムでした。特に整備された道路網は、反乱の鎮圧や外敵への対処のために軍隊を素早く移動させる軍事的な役割と、帝国全域の交易を支える経済的な役割を兼ね備えていました。また、水道などの公共施設の建設は、征服地の住民にローマ文明の恩恵を実感させ、統治を安定させる目的もありました。
問6	答え 4 定期的に氾濫することで、上流から農業に適した肥沃な土を運び、土地を豊かにした。	ナイル川は毎年決まった時期に氾濫を繰り返しました。この氾濫によって上流から栄養分を豊富に含んだ土砂（肥沃な土）が下流へと運ばれ、乾燥地帯であるエジプトでも安定した農業を行うことが可能になりました。この豊かな農業生産力が、巨大なピラミッドの建設や国家の形成を支える基盤となりました。
問7	答え 1 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめ上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。	大河の流域で農業生産を安定させるためには、洪水を防ぐ治水や、田畑に水を引く灌漑といった大規模な土木作業が不可欠でした。これらの作業を統率する過程で、強力な権力を持つ王や指導者が現れ、階級や税の仕組み、文字による記録体系を持つ「国家」という組織が整えられていきました。
問8	答え 1 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった	ローマ帝国は初期において、多神教の立場から皇帝崇拝を拒むキリスト教を「国家に反するもの」として処刑などの迫害を行いました。しかし、4世紀初めにコンスタンティヌス帝が信仰を認め（公認）、その後、帝国の分裂を防ぎ統治の正当性を支える基盤とするために、4世紀末には唯一の公式な宗教（国教）として定められました。シルクロードや民主政治などは、ローマ帝国のキリスト教政策とは異なる背景を持つ用語です。
問9	答え 1 甲骨文字	殷王朝では、王が国家の重要な方針を決める際に、亀の甲羅や牛の骨を焼いてそのひび割れの形を見ることで神の意志を問う「占い」を行っていました。その結果を記録するために刻まれた文字が甲骨文字であり、これがのちの漢字の原型となりました。動物の骨や亀の甲羅（甲）を用いたことが名称の由来です。
問10	答え 1 イスラム教	7世紀の西アジアでは、ムハンマドが唯一神アッラーの教えを説くイスラム教を創始しました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子の政治や大化の改新（645年）が行われていた時代と一致します。シャカによる仏教やギリシャのポリス形成は紀元前の出来事であり、イエスによるキリスト教の成立は1世紀のことです。
問11	答え 4 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。	安土桃山時代に豊臣秀吉が行った朝鮮侵略の際、連れてこられた朝鮮の陶工たちによって有田焼や薩摩焼などの優れた陶芸技術が日本に伝わり発展しました。勘合貿易は室町時代、須恵器の伝来は古墳時代、正倉院は奈良時代の出来事となります。
問12	答え 1 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。